

第16回九州クラブ野球選手権大会 新型コロナウイルス対応ガイドライン

※必ずお読みください

1 基本方針

大会主催者、関係者及びチーム関係者は試合・移動・宿泊等にあって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となるソーシャルディスタンスを確保すること、密閉、密集、密接を避けること、マスクを着用すること等を常に意識しながら行動することとする。

2 チーム関係者の感染予防策

(1) 球場に出入りする際

- ア 「健康チェック表（チーム関係者用）」を試合当日、大会本部（受付）に提出する。
- イ ただし、起床直後と出発前に検温を行い、37.5℃以上あった者は球場への入場を禁止する。また、同チェックシートの質問に「有」とチェックがあった者の球場への入場の可否については、大会主催者がチーム責任者と協議して判断する。
- ウ チームは、大会主催者の指示を受けてから、グラウンド入りする。
- エ 球場内への入場は、第一試合のチームは大会主催者の支持を受けてから入場し、第二試合のチームは前試合のチームが退場した後での入場とし、大会主催者の支持を受けてから入場すると。
- オ ダッグアウト内の消毒作業完了後、大会本部の指示を受けてから、ダッグアウト内に荷物を入れる。

(2) 試合中

- ア 試合開始、終了時はホームベースを挟んで2^{メートル}以上の間隔をあけて整列し、挨拶を行うこととする。なお、相手チームとの握手は行わない。
- イ 試合に出場している選手以外の控え選手及び監督・コーチ等のスタッフ（ベースコーチを除く）はマスクを着用とする。
- ウ 素手でのハイタッチや握手を控える。
- エ 唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
- オ 選手交代で監督が主審と近づく場合は、できるだけ2^{メートル}（最低1^{メートル}）空ける。

3 観客の感染予防策

(1) 球場への入場制限対象者

- ア 過去1週間以内から現在までに下記を含む体調不良がある方
体温 37.5℃以上、強い倦怠感、感冒様症状（咳、咽頭痛等）味覚・嗅覚異常
- イ PCR 検査陽性歴があり。（ア）有症状者では、発症日から10日未満、かつ、

症状軽快後 72 時間以内。(イ) 症状軽快後 24 時間経過から 24 時間以上の間隔をあけ、2 回の PCR 検査で陰性を確認できていない。

(ウ) 無症状病原体保有者では、陰性確認から 10 日未満。(エ) 検体採取日から 6 日間経過後、24 時間以上の間隔をあけ、2 回の PCR 検査で陰性を確認できていない。

- ウ 濃厚接触者として自宅待機中
- エ 家族が濃厚接触者として自宅待機中
- オ 家族にア、のいずれかに該当する体調不良者がいる
- カ 海外から帰国（日本に入国）して 14 日未満
- キ マスク非着用の方

(2) 球場に出入りする際

- ア 球場入り口で検温を行い、37.5℃以上あった場合は入場をお断りする。
- イ 球場入り口でアルコール消毒液による手指消毒を行う。
- ウ 退場する時は、配布された除菌シートで座席を消毒する。

(3) 試合中

- ア 観客の座席は、極力 2 人以上（最低 1 人）離すこととする。
- イ 応援の制限（禁止事項）
 - (ア) 観客席で大声を出すこと
 - (イ) 社歌及び校歌またはチーム応援歌の合唱、及びエールを送ること
 - (ウ) 太鼓、トランペットやホイッスル等鳴り物応援
 - (エ) メガホン、スティックバルーンを使用しての応援
 - (オ) 両手をメガホン代わりにした大声での声援
 - (カ) ビックフラッグや応援タオルを振り回す応援
 - (キ) 肩組み、飛び跳ねなど集団での動きを伴う応援
 - (ク) 指笛の応援
 - (ケ) ビックプレー、ファインプレー等での観客のハイタッチ
- ウ 新たな応援スタイル
自席で声を出さずに、拍手を送るなど自然体の応援スタイルとする。

4 報道関係者の感染予防策

(1) 球場に出入りする際

- ア 受付で検温を行い、37.5℃以上あった者は球場への入場を禁止する。
- イ 「健康チェック表（報道関係者用）」に必要事項を記載し、チェックシートの質問に「有」とあった者の球場への入場については、大会主催者が当事者に内容を確認のうえ、判断する。
- ウ 定められた場所（別に定める）を使用する。

■体調不良が出た場合

観戦前後にかかわらず、大会事務局・船津丸(090-1087-7451) 山口(090-3987-2292)へ連絡してください。